

## 222nd IBB Seminar

### ゲノム編集技術から派生する遺伝子機能制御技術

講師：野村 渉 准教授

東京医科歯科大学 生体材料工学研究所  
メディシナルケミストリー分野

日時：平成31年3月2日（土） 16:30～18:00

会場：東京医科歯科大学 生体材料工学研究所  
第2会議室 22号館（1階）



Abstract: CRISPR-Cas9 に代表されるゲノム編集技術は簡便な仕組みを利用して遺伝子の配列を自在に変換させる技術として基礎生物学研究だけではなく医療・育種・畜産などの様々な分野での利用が拡大している。そうした利用、応用においては遺伝子を切断し、一部に変異を導入する、という機能だけではなく遺伝子発現量の調節や大幅な遺伝子配列変換など異なる機能が求められる場面もあり、そういった目的に対応する技術開発も求められている。また、特に医療、育種など安全面が重要視される利用においては目的配列以外での切断（オフターゲット作用）が問題視されており、課題解決に向けた研究が行われているが決定的な解決策は示されていない。

本セミナーでは、ゲノム編集技術を中心とした世界的な研究動向を中心に紹介し、DNA切断に基づく遺伝子配列改変だけではない、ゲノム編集技術から派生する研究、上記課題の解決に向けた取り組みについて最新の成果を報告する。

お問い合わせ：生体材料工学研究所

メディシナルケミストリー分野

亀井(内線 8036)、玉村